

# 立命館経済學

第二十三卷 第四号

昭和四十九年十月

---

## 内 容

### 論 説

- 国有林における労働組織の形成と展開 (一) .....奥 地 正 1  
——東北・秋田国有林を中心に——  
現代巨大企業の生産機構 .....坂 本 和 一 45

### 研究ノート

- 県民所得統計の発展と県民所得標準方式 (終) .....後 藤 文 治 97

### 翻 訳

- パルヴス『世界市場と農業恐慌』(三) .....大 藪 輝 雄 119  
鈴 木 敏 正  
国家独占資本主義における  
ブルジョア経済学の機能 .....振 津 純 雄 152  
共同研究室 ..... 205

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第二十三卷・第二号

論 説

現実資本と貨幣資本の現代的発現……小 牧 聖 徳  
——社会的動向と主体的発現——

アジアの生産様式の

基本的構造について……………杉 野 園 明

紹 介

カール・B・ターナー『ソヴェートに

おけるケインズ批判の変遷』(一)……小 野 進

書 評

坂本和一著『現代巨大企業の

生産過程』……………若 林 洋 夫

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第二十三卷・第三号

論 説

『独占資本主義分析』試論……………甲 賀 光 秀

研 究

タイ地主制下の米価問題……………田 坂 敏 雄

紹 介

A・ライオンフット『ケインズ派

経済学とケインズの経済学』(二)……小 野 進

——貨幣理論の研究——

翻 訳

パルヴス『世界市場と

農業恐慌』(一)……………大 藪 輝 雄

鈴木敏正

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会